



昭和43年度指定 高指第6号

(故)内島 修蔵

【雅号】修芳 しゅうほう

生年／明治44年 指定技術名／漆器・彫刻塗



ぼたんぼりかざりはち

牡丹彫飾鉢

高岡漆器彫刻塗は、色漆を使い漆刷毛で絵画的に塗り上げていくのが特徴で、描写力と熟練した技が要求される技法である。氏の手掛ける作品は、日本画を連想させる独特の表現技法と金箔を用いた彩色塗技法が特徴で、芸術品としての価値へと高めている。

平成48年作 素材・技法／桂・彫刻塗 寸法／高さ5.5cm×径39cm

【表彰・受賞歴】

昭和42年 社団法人日本漆工協会優秀技術者表彰
昭和48年 高岡市市民功労者表彰
技能功労者表彰
昭和49年 富山県功労表彰
昭和53年 黄綬褒章
昭和59年 勲六等单光旭日章
平成 8年 富山新聞社富山風雪賞

【経歴】

大正15年 彫刻塗師本田富次郎氏に師事し彫刻塗技術を学ぶ
昭和 3年 独立開業、漆彫刻塗りに専念
昭和44年 高岡市伝統工芸産業技術保持者指定
昭和45年 高岡漆芸みどり会会長
昭和49年 伝統工芸高岡漆器協同組合副理事長
昭和52年 伝統工芸高岡漆器協同組合後継者養成スクール講師
昭和58年 高岡巧美会会長
昭和59年 伝統工芸士に認定